

2023年3月30日

成田空港×ANA×JAL共同 『成田空港で資源をまた使おうプロジェクト』始動!!

成田国際空港株式会社（代表取締役社長：田村 明比古、以下「NAA」）は、ANAホールディングス株式会社（代表取締役社長：芝田 浩二）及び日本航空株式会社（代表取締役社長：赤坂 祐二）と連携して、資源循環に関する共同プロジェクト『成田空港で資源をまた使おうプロジェクト』を、2023年4月1日より始動します。本プロジェクトの概要は以下の通りです。

【プラスチック資源循環】4月1日より運用開始



廃棄される ※1
航空貨物用の梱包フィルムを回収



※4 **旅客ターミナルビル
等のごみ箱で使用** **再生材ゴミ袋 ※2**
**『FUROSHIKI』
に再生**



**新たに再資源化に取り組むプラスチック
年間130t ※3**

- ※1 貨物用シートやストレッチフィルム等
 ※2 99%廃プラスチックを使用
 ※3 2021年度における排出実績ベース
 ※4 (株)成田空港美整社・三栄メンテナンス(株)・(株)ソピュア・日本空港テクノ(株)と連携

【木材資源循環】順次運用開始



廃棄される ※1
航空貨物用の木製輸送資材を回収



**航空貨物輸送
で使用**



**輸送用資材
(角当て・ボード等)
に再生**



順次導入予定

**新たに再資源化に取り組む木製パレット
年間700t ※2**

- ※1 木製パレットや木製ボード等
 ※2 2021年度における排出実績ベース

成田空港は世界第5位の航空貨物取扱量(2021年度)を誇る一方、多くの関連する廃棄物が発生します。これまでは空港関連事業者が独自に取り組みを行っていましたが、株式会社サティスファクトリー協力のもと、NAAの働きかけに各社が賛同・連携し、成田空港の新たな資源循環スキームを構築しました。今後も、参加企業や品目等を増やし、更なるプロジェクトの拡大を実現していきます。

NAAでは、2021年に「サステナブルNRT2050」を策定し、2050年度までに成田空港から排出されるCO₂を50%削減(2015年度比)することを目標としています。NAAは、2019年以来取り組んでいる「成田空港のプラスチック・スマート」活動のレベルアップを含めて、今後も持続的に発展できるサステナブル・エアポートを目指します。



サステナブルNRT2050



「成田空港のプラスチック・スマート」宣言

